

### 教育研究上の目的

心理学科は、幅広い専門的な心理学的知見と態度及び技能を具備し、心理学的支援を要する人々に対し、専門知識をもって発達段階に応じた適切な支援のできる人材を養成することを教育研究上の目的とする。

### 学位授与方針（ディプロマ・ポリシー）

心理学科では、教育研究上の目的を達成するため、次の学生像を人材育成の方針とする。

1. 心理学的な研究方法から得られた実証的なデータに基づいて、人間、および人間の発達に対する多面的な見方ができる
2. 心理学における基本的な理論や概念を理解し、共感的理解や対人コミュニケーション能力を身につける
3. 専門教育で習得した理論・概念・知識・技能により、生活支援能力や身体のケア能力を身につける

そのうえで、次の資質および能力を有している者に「学士（心理学）」の学位を授与する。

#### ①知識・技能

1. 心理学の主な領域（発達、臨床、社会、生活、教育、保健）における基本的な理論や概念を理解できる
2. データに基づいた実証的な研究方法の進め方を理解できる
3. 養護教諭として必要な身体に関する知識と技能を身につけ、実践することができる
4. 専門教育で習得した心理学の理論・概念・技能を生活で活用していく方法を理解できる
5. データの分析から得られた資料に基づいて、自ら導いた考察や結論を、客観的かつ論理的に表現することができる

#### ②思考力・判断力・表現力

1. 人間の心と行動に対する経験則的な理解や主観的な考え方と、心理学に基づく実証的・科学的な考え方の違いを的確に判断できる
2. 心理学の基本的な理論や概念に基づいて、人々の心や行動の特徴を分析的に考えることができる
3. 心理学的な研究方法から得られた実証的なデータについて、統計的な解析に基づいて客観的・科学的な解釈を下すことができる

#### ③主体性・多様性・協働性

1. 心理学全般または主な領域（発達、臨床、社会、生活、教育、保健）のうち特定領域に対して興味・関心を持ち、自ら調べ考えようとする態度を備えることができる
2. 心理学の基本的な理論や概念を、日常生活で経験したことの理解や分析に活用しようとする意欲をもつことができる
3. 制度や環境といった社会的な視野および生涯発達（誕生から死に至るまでの発達）という視点から、日常生活における課題を見出すとともに、専門教育で習得した理論・概念・知識・技能をもちいて、その解決に臨む意欲をもつことができる
4. 自らおよび周囲の人々の心と身体の健康を保持増進するために、専門教育で習得した理論・概念・知識・技能を進んで活用しようとする意欲をもつことができる

---

心理学科では、ディプロマ・ポリシーに挙げた資質・能力を身に付けさせるため、教育課程として8領域を設定し、各領域に学修過程に応じた科目を配置する。

1. 「生涯発達」領域では、心理学の基本的な理論や概念、実証的・科学的な考え方にに基づき、多面的かつ複合的に人間の発達過程に対する理解を深める
2. 「心理臨床」領域では、心理臨床における知識や理論を学び、事例学習や実習を通して個々の発達段階における危機的課題への支援・援助に関する専門的知識および技能を習得する
3. 「研究法・実習」領域では、人間の心と行動を実証的・科学的に検証・分析する方法を習得するとともに、実習を通して実践に通じる技能を身につける
4. 「社会」領域では、社会の諸場面（人間集団、家庭・家族、対人関係、企業活動）における人びとの行動特性を学び、心理学に基づいて、人間の心と行動を分析的に考える力を養う。学生自ら進路選択の可能性を広げられるようになることを視野に入れ、社会の中で心理学の専門的学びを活かせる姿勢を身につける
5. 「生活」領域では、制度や環境といった社会的な視野および生涯発達（誕生から死に至るまでの発達）という視点から、日常生活における課題を発見・分析し、自己および周囲の人々の心や体の健康を保持増進させようとする姿勢を養う
6. 「教育」領域では、学校教育における学習活動および保健活動に対する理解と指導について学び、かつ事例学習や実習を通して現場において問題や課題を早期に発見する姿勢および問題に対して柔軟に対応できる力を養う
7. 「保健」領域では、学校における児童・生徒の養護および保健教育・指導に関わる専門的知識や技能を習得し、かつ事例学習や実習を通して現場において問題や課題を早期に発見する姿勢および問題に対して柔軟に対応できる力を養う
8. 「公認心理師関連」領域では、心理学的支援を必要とする人への専門的な相談・助言・指導等の支援方法を習得し、かつチーム支援や他職種・他機関との連携・共同について学ぶ

各領域の学修過程は、次の通りとする。

◆「生涯発達」領域

1. 心理学の主な領域における基本的な理論や概念、実証的・科学的な考え方について理解させる
2. 人の生涯にわたる発達の過程と要因に関する基礎的な理論を理解し、各発達段階における専門的な知識を習得させる
3. 生涯発達に関する心理学的な知見に興味をもち、自ら調べ考えようとする態度を養う

◆「心理臨床」領域

1. 心理臨床における基本的な理論や概念を学び、人々の心や行動の特徴を分析的に考える力を育成する
2. 心理臨床における知識や技能を習得し、生涯発達の視点をもちつつ、自らおよび周囲の人々の心の健康を保持するために、生活の中で活用する方法を理解させる
3. 心理臨床の各領域における知識・技能を用いて、日常生活における課題の解決に臨む意欲を養う

◆「研究法・実習」領域

1. 人間の心と行動に対する経験則的な理解と、実証的・科学的な考え方の違いについて理解し、適切な研究方法を自ら考える力を養う
2. 心理学的な研究法から得られた実証的なデータについて、コンピュータを活用した統計的な解析をもとに、客観的・科学的な判断を考えさせる
3. 心理学的な興味に基づいて実施された実験・調査・面接・観察・検査等で得られたデータを分析し、自ら導いた考察や結論を、客観的かつ論理的に表現する力を育成する

◆「社会」領域

1. 人間の心と社会の諸場面（人間集団、家庭・家族、対人関係、企業活動）に関する基本的な理論や概念について学び、人々の心や行動の特徴を分析的に考える力を養う
2. 社会における経験が心理学的手法を用いてどのように説明されるのかを学び、人間の心と行動に対する経験則的な理解と、実証的・科学的な考え方の違いを判断する力を身につけさせる
3. 人間の心と社会とのつながりに関する基本的な理論や概念を用いて、日常生活での経験を分析し、実際にそれらを活用する方法を自ら考える力を育成する

◆「生活」領域

1. 日常生活における経験が心理学ではどのように研究されているのかを学び、心理学の理論・概念・技能を人間生活で活用していく方法について考える力を養う
2. 心理学の様々な研究領域に触れる中で、興味関心を持った事柄について自ら調べ考えようとする姿勢を養い、心理学の基礎的な知識や技能に基づいた考察や結論を導く力を養う
3. 制度や環境といった社会的な視野および生涯発達（誕生から死に至るまでの発達）という視点から、日常生活における課題を発見・分析し、自らおよび周囲の人々の心や体の健康を保持増進させようとする姿勢を養う

◆「教育」領域

1. 社会的な視野および生涯発達という視点から、教育現場における課題を見出させる
2. 学校教育における学習活動・保健活動および指導に関して、教育を中心とした諸領域の専門的知識と基本的な技能を身につけさせる
3. 社会的な視野および生涯発達という視点から、教育現場における課題を見出す姿勢とともに、専門教育で習得した理論・概念・知識・技能を用いて、その解決に臨む意欲を養う

◆「保健」領域

1. 心と身体の健康に関して、保健を中心とした諸領域の専門的知識と基本的な技能を学ばせる
2. 自己および周囲の人々の心と身体の健康を保持増進のために、専門的知識や技能を活用する方法を自ら考え行動する力を育成する
3. 養護活動における課題を見出し、専門教育で習得した理論・概念・知識・技能を用いて、その解決に必要な実践的能力を養う

◆「公認心理師関連」領域

1. 公認心理師としての職責を理解し、心理学的支援に関する専門的知識と技能を学ばせる
2. 具体的な体験や支援活動を通して、心理に関する専門的知識及び技能と支援を行う関係者の役割分担を概念化・理論化し、体系だてることができるようにさせる
3. 社会の変化に伴う心理学的課題を自ら発見し、専門職として生涯にわたり自己研鑽を続ける意欲および態度を身につけさせる

◆卒業研究

1. 心理学における実証的な研究方法の進め方を理解し、自ら見出したテーマに沿って研究を行わせる
  2. データの分析から得られた資料に基づいて、自ら導いた考察や結論を、客観的かつ論理的に表現させる
  3. 社会的な視野・および生涯発達という視点から、心理学的な知見を人間生活に対して還元しようとする姿勢を養う
-

## 入学者受入方針（アドミッション・ポリシー）

---

心理学科では、心理学の諸領域を幅広く学ぶことで、多様な領域において活躍できる人材を育成するために、次のような学生を求める。

1. 人間の心と行動に対して興味がある
2. 共感的態度を有し、他者を支援したいという意欲がある
3. 知的好奇心に富み、物事を科学的・論理的に考察する思考力を備えている

また、入学後の学修の基盤として、次の知識や能力が求められる。

### ①知識・技能

1. 心理学の学びや養護教諭免許、公認心理師など資格取得に必要な高校までの教科・科目に関する基礎的な知識を身につけている
2. 他者の考えを理解するとともに、自身の考えを適切に表現し、誰とでも対話し、協力して行動できる能力を有する
3. 心理学に関する専門的な知識を理解するための基礎学力（国語、数学、英語など）を身につけている

### ②思考力・判断力・表現力

1. 「人の心と行動」に関する課題について資料（文章、データなど）を読み取り、問題点を見つけ、改善するための方法を考えることができる
2. 人の心に関する諸問題を解決するために、様々な視点から物事を考え、他者の意見を取り入れながら適正な判断をくだすことができる
3. 相手の話をよく聴き、自分の意思を相手にわかりやすく伝えることができる

### ③主体性・多様性・協働性

1. 相手の立場を尊重して傾聴や共感をするとともに、自ら積極的に問題解決しようとする態度を有する
2. 様々な人の生き方や考え方を大切にし、他者を支援したいという共感的態度を有する
3. 入学後の修学に必要な基礎学力（特に、英語・国語・数学・生物・化学）を元にして、課題に対して他者と協働して取り組むことができる